

- 2面 おしえてカッピー
水道料金の支払い方法について
- 3面 水道フレンズになろうよ！
平成27年度 作品募集の結果発表！
- 4面 環境に配慮した取組み
プレゼントコーナー



企業庁のホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f27>



神奈川県モバイルサイト「かなぼけっと」神奈川県営水道のページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/mbl/f100012/>

おしえてカッピー 県営水道のこと



アクアくん

皆さん、ぼく県営水道の広報部長カッピーです。
今回は、県営水道の取組みなどについてお伝えします！



県央・湘南地域を中心とする 広域水道です

水道事業は、水道法で市町村が運営することが原則なんだけど、市町村にとって水道事業は水源開発などの財政的負担が大きいから、地元市町村の要望を受けて、神奈川県では昭和8年から湘南地域の水道事業を開始したんだ。

1市9町の約4千人のお客さまから始まり、順次拡大しながら、水需要の増加に対応するため水道施設を拡張して、現在は12市6町で約280万人（県民の約3割）のお客さまに安全で良質な水をお届けしています！

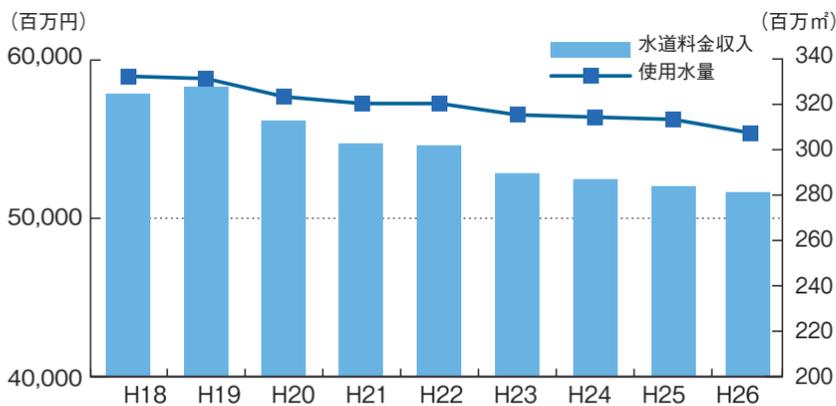
神奈川県営水道事業経営計画を 策定しています

県営水道は、給水人口が約280万人と、国内の水道事業者の中で4番目に多くのお客さまにお水をお届けするまでに拡大したんだ。

でも、拡大と同時に多くの水道施設を保有することになったから、維持管理の負担も大きくなっているんだ。

また、社会環境の変化にともなって、県営水道を取りまく環境も変わっていて、例えば、節水機器の普及や工場の減少などで使用水量が減少し、水道料金収入が長期的に減少しているし、将来の人口減少が予測されるなど、水道料金収入の見通しは厳しくなっているんだ。

上水道料金収入の変化



それに、高度経済成長期の水需要に対処するために急ピッチで整備してきた水道施設が古くなっているし、今後起こるかもしれない大きな地震に対応する水道施設に更新していく必要もあるんだ。

こうした環境変化に対応するために、30年先を見据えた施設整備のロードマップを作って、このロードマップをもとに「神奈川県営水道事業経営計画」を策定しているんだ。「神奈川県営水道事業経営計画」では、平成30年度までの具体的な取組みと目標を定めていて、計画的に事業を進めています。

水道施設の耐震化・老朽化対策に 取り組んでいます

「神奈川県営水道事業経営計画」では、中長期的な視点に立って、適切な水道施設の管理を行うことにしているんだ。

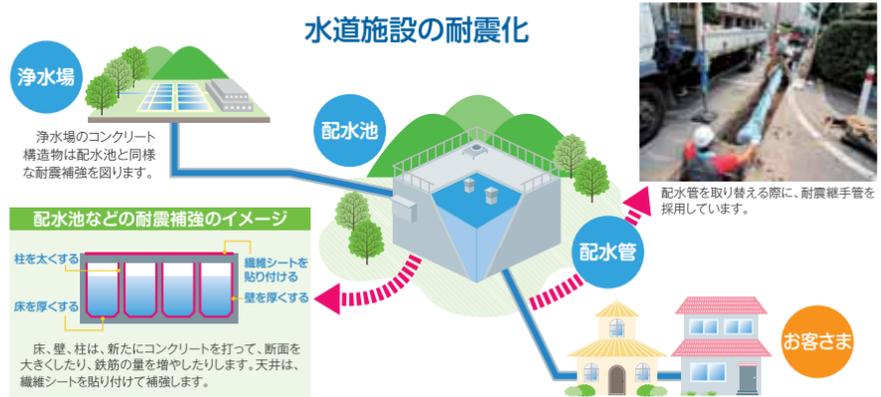
例えば、大規模災害の発生に備えるため、古くなった水道管を取替えたり、災害拠点病院等につながる水道管に耐震継手管を採用したり、水道施設の耐震化を推進しライフラインの確保を図っています。

【主な事業】

●水道施設耐震化事業

県営水道は、すでに東海地震に備えた耐震化をほぼ完了させているんだ。でも、給水区域内で最大規模と想定される地震に対応するため、さらに浄水場や配水池の耐震化対策を進めているんだ。

ほかにも、災害時に重要となる、災害拠点病院などの重要給水施設につながる水道管や重要な基幹水道管の耐震化を進めています。



●老朽管リフレッシュ事業

給水区域内には約9,200kmもの水道管があるけど、そのうち1,200km近くが古い水道管なんだ。

この古い水道管を、耐震化しながら、材料や技術の進歩のおかげでより長い期間使用できるようになった水道管にして、長寿命化に取り組んでいるんだ。

これだけではなく、普段の生活の中はもちろんのこと、災害時であっても途切れずに水道水をお届けするために、重要な水道管である浄水場から配水池までの水道管と、配水池から水を送るための大きな水道管を計画的に更新しながら耐震化を進めています。

お客さまには「災害や事故に備えた強靱な水道づくり」のために、いつもご協力いただきありがとうございます。

県営水道はこれからも、お客さまに安全で良質な水道水を安定してお届けしていきます！

「神奈川県営水道事業経営計画」は
ホームページでご覧になれます。

県営水道 経営計画

検索

